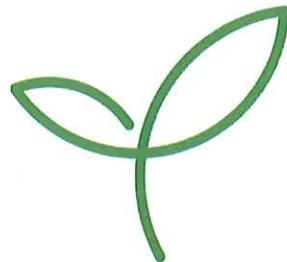


令和5（2023）年度

ふたばこども園自己評価



認定こども園
佐賀女子短期大学付属
ふたばこども園
令和6(2024)年2月26日

もくじ

ページ

- 1 学校教育目標等
- 2 保護者の評価アンケート（0・1・2歳児）
- 3 保護者の評価アンケート（3・4・5歳児）
- 4 保護者の園評価アンケート集計（総合）
- 5 教職員の自己評価集計
- 6 園評価集計グラフ 1
- 7 園評価集計グラフ 2
- 8 園評価（保護者）及び自己評価（職員）の総合評定
- 9 総合評価、次年度への課題・改善策
- 10 次年度への課題・改善策、評価委員の意見
- 11 評価委員の意見等

2023年度 園の自己評価

佐賀女子短期大学付属 ふたばこども園

1. 学校教育目標

「遊びは学び」という乳幼児教育の理念を基本とし、子どもの主体的、創造的活動を促すとともに集団生活をとおして、思いやりの心や社会性を身につけ、生きる力の基礎を培う。

2. 求める子どもの姿（①～知識や技能、②～思考力・判断力・表現力等、③～学びに向かう力、人間性等）

やさしく	かしこく	たくましく
<input type="radio"/> 感性豊かな子 ③	<input type="radio"/> 様々な気づきや発見を楽しめる子 ①	<input type="radio"/> 進んで運動する子 ①
<input type="radio"/> 相手の気持ちを受け止める子 ③	<input type="radio"/> 新しい考えを生み出す子 ②	<input type="radio"/> 遊びを通して身体感覚を高める子 ①
<input type="radio"/> 思いやりの心をもち、行動に移せる子 ③	<input type="radio"/> 自分の思いを表現し、伝え合える子 ②	<input type="radio"/> 自然に親しみ、自然のすばらしさと戯れる子 ②

3. 教育方針

【青文字】は新「認定こども園教育・保育要領」に示された、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿

- ① 食事を楽しみ、健康や望ましい食生活習慣を身につけるようになる。 【健康な心と体】
- ② 目標を定めて挑戦し、充実感や満足感、そして達成感を味わうことができるようになる。 【自立心】
- ③ 日常生活・集団生活の中で言葉を通して人間関係を深めるようになる。 【協同性】
- ④ あいさつや決まりを守ることなど集団生活に必要な生活習慣が身につくようになる。 【道徳性・規範意識の芽生え】
- ⑤ 地域とのつながりを深め、豊かな体験ができるようになる。 【社会生活との関わり】
- ⑥ 体験活動や探究活動を重視し、感性を高め、知的発達が芽生える。 【思考力の芽生え】
- ⑦ 身の回りのものや自然の事物と親しむ中で、生命の神秘や不思議さ、美しさを感じ、自然を大事にしようとする。 【自然との関わり・生命尊重】
- ⑧ 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ、それらに興味や関心、感覚を持つようになる。 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
- ⑨ 豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝え合いを楽しむようになる。 【言葉による伝え合い】
- ⑩ 心を動かす出来事などに触れ、感性を働かせ、表現する喜びを味わうことができるようになる。 【豊かな感性と表現】

4. 評 定

評定の基準	A とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が75%以上	関係者評価の判定基準	A 園の自己評価を 納得できる
	B とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が60%以上75%未満	B //	だいたい納得できる
	C とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%以上60%未満	C //	あまり納得できない
	D とてもよい（そう思う）・よい（ややそう思う）の合計が50%未満	D //	納得できない

5. 保護者の園評価 ・・・ 資料1-1 ・ 資料1-2 ・ 資料1-3 ・ 資料3-1 ・ 資料3-2

6. 教職員の自己評価 ・・・ 資料2

5 保護者の園評価アンケート集計【0・1・2歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-1

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階					評価の段階		
			①とてもよい そう思う	②よい・やや そう思う	③あまりよく ない・あまり そう思わない	④よくない そう思わない	⑤分から ない	よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分から ない ⑤
1	教育・保育の目標	先生方は、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や認定こども園教育・保育要領に示されている内容に基づき、子どもの主体性や自発的な言動を大切にし、遊びを通した教育・保育の実践に取り組んでいます。こうした子ども中心の教育・保育についてどう思われますか？	55 87.3%	8 12.7%				63 100.0%		
2	意欲	先生方は、子どもたち一人一人に寄り添い、共に遊びながら教育・保育を実践しています。また、進んで子どもたちにあいさつやことばかけをしています。先生方は教育・保育活動に意欲的に取り組んでいると思いますか？	52 82.5%	11 17.5%				63 100.0%		
3	研究・研修	先生方は、年に一人1回以上の研究保育を行ったり、月1回の園内研修（勉強会）や園外での研修会などに参加したりして、どの園よりも研修を積み、その成果を日頃の保育に活かしています。こうした取り組みについてどう思われますか？	52 82.5%	10 15.9%			1 1.6%	62 98.4%	1 1.6%	
4	組織力	先生方は、毎週学年の話し合いを行い、行事や保育の実践、情報等について共有をしています。また、チームワークや組織での対応を大切にしています。先生方は、子どもの保育や指導、支援などについて、職員同士で連携したり協力したりしていると思いますか？	47 74.6%	15 23.8%			1 1.6%	62 98.4%	1 1.6%	
5	安全・環境	先生方は、毎月園舎や遊具の安全点検を行ったり、はう、立つ、歩くなどの行動が自由にできるように保育室の環境整理を行ったりしています。先生方は子どもたちが安心して、安全に園で過ごせるように努力していると思いますか？	46 73.0%	16 25.4%			1 1.6%	62 98.4%	1 1.6%	
6	指導の工夫・改善	先生方は、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りのおもちゃを工夫したり、遊びの環境を整えたりしています。先生方は、子ども中心の教育・保育の実践に務めていると思いますか？	55 87.3%	8 12.7%				63 100.0%		
7	道徳性の指導	先生方は、子どもたちにやさしく声をかけ応答を楽しんだり、スキンシップを取ったりしながら、園で安心して過ごせるよう心かけています。こうした保育についてどう思われますか？	56 88.9%	7 11.1%				63 100.0%		
8	生活習慣の指導	先生方は、できるだけゆったりとした園生活が送れるように、一人一人の生活リズムを考えながら、給食や午睡などの取り方を工夫したり、遊びの環境を作ったりしています。こうした保育についてどう思われますか？	52 82.5%	11 17.5%				63 100.0%		
9	信頼性・連携	先生方は、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話をし、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。先生方は、気軽に相談できる体制を取っていると思いますか？	36 57.1%	25 39.7%	2 3.2%			61 96.8%	2 3.2%	
10	園の公開	先生方は、お便りや写真の掲示、インスタグラムなどで子どもたちの様子をできるだけ多く保護者の皆様にお伝えしようと工夫しています。先生方は、園の「公開」や「見える化」に取り組んでいると思われますか？	39 61.9%	24 38.1%				63 100.0%		
11	身近な人々とのかかわり	先生方は、身近なところに散歩に出かけたり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊び機会を多く持ったりしています。先生方は、高校・短大や地域と連携し、子どもたちによりよい教育・保育を提供するようにしていると思いますか？	47 74.6%	14 22.2%	1 1.6%		1 1.6%	61 96.8%	1 1.6%	1 1.6%
12	健康支援	先生方は、気候がよい時には、できるだけ外気に触れたり、戸外に遊びに行ったりする機会を多く取り入れています。こうした保育についてどう思われますか？	55 87.3%	8 12.7%				63 100.0%		
13	食育の推進	先生方は、授乳や給食について家庭と連携を取り、一人一人の生活リズムに合わせ、ゆったりと関わりながら飲食させるように工夫していると思いますか？	44 69.8%	17 27.0%			2 3.2%	61 96.8%		2 3.2%

5 保護者の園評価アンケート集計【3・4・5歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-2

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階					評価の段階		
			①とてもよい そう思う	②よい・やや そう思う	③あまりよく ない・あまり そう思わない	④よくない そう思わない	⑤分から ない	よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からない ⑤
1	教育・保育 の目標	先生方は、「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や認定こども園教育・保育要領に示されている内容に基づき、子どもの主体性や自発的な言動を大切にし、遊びを通した教育・保育の実践に取り組んでいます。こうした子ども中心の教育・保育についてどう思われますか？	147	31	2		1	178	2	1
			81.2%	17%	1%		1%	98.3%	1.1%	0.6%
2	意欲	先生方は、子どもたち一人一人に寄り添い、共に遊びながら教育・保育を実践しています。また、進んで子どもたちにあいさつやことばかけをしています。先生方は教育・保育活動に意欲的に取り組んでいると思いますか？	129	49	1	1	1	178	2	1
			71.3%	27.1%	0.6%	0.6%	0.6%	98.3%	1.1%	0.6%
3	研究 研修	先生方は、年に一人1回以上の研究保育を行ったり、月1回の園内研修（勉強会）や園外での研修会などに参加したりして、どの園よりも研修を積み、その成果を日頃の保育に活かしています。こうした取り組みについてどう思われますか？	140	34		1	6	174	1	6
			77.3%	18.8%		0.6%	3.3%	96.1%	0.6%	3.3%
4	組織力	先生方は、毎週学年の話し合いを行い、行事計画や保育の実践の振り返り、情報等の共有を行っています。また、チームワークや組織での対応を大切にしています。先生方は、子どもの保育や指導、支援などについて、職員同士で連携したり協力したりしていると思いますか？	127	45	5		4	172	5	4
			70.2%	24.9%	2.8%		2.2%	95.0%	2.8%	2.2%
5	安全 環境	先生方は、毎月施設や遊具の安全点検を行ったり、各保育室などの清掃や整理整頓を行ったりしています。先生方は子どもたちが安心して、安全に、園で過ごせる環境づくりに努力していると思いますか？	119	53	6		3	172	6	3
			65.7%	29.3%	3.3%		1.7%	95.0%	3.3%	1.7%
6	指導の 工夫・改善	先生方は、子どもたちが何に興味や関心を持ち、どんな遊びをしたいかを見通しながら、手作りの遊具やおもちゃを準備して遊びの環境を整え、子どもの気持ちや、やりたい思いを実践できる指導を工夫しています。先生方は、子ども中心の教育・保育の実践に務めていると思いますか？	138	40	3			178	3	
			76.2%	22.1%	1.7%			98.3%	1.7%	
7	道徳性の 指導	先生方は、子ども同士のトラブルや人を傷つけるような言動があった場合、子どもの意見や思いを聞きながら、子ども自身が納得した解決に努めています。先生方は、規範（ルール）や自分も友達も大切にするなど、道徳性の芽生えを育てていると思いますか？	122	54			5	176		5
			67.4%	29.8%			2.8%	97.2%		2.8%
8	生活習慣の 指導	先生方は、あいさつや正しい言葉遣いを自ら励行し、子どもの手本となるようにしています。先生方は、基本的生活習慣が身に付くようにかかわっていると思いますか？	124	49	4	1	3	173	5	3
			68.5%	27.1%	2.2%	0.6%	1.7%	95.6%	2.8%	1.7%
9	信頼性 ・連携	先生方は、できるだけ直接又は電話で保護者の方とお話をし、家庭との連絡や情報の提供を行うように努めています。園（先生方）は、気軽に相談できる体制を取っていると思いますか？	111	57	8	1	4	168	9	4
			61.3%	31.5%	4.4%	0.6%	2.2%	92.8%	5.0%	2.2%
10	園の公開	先生方は、お便りや写真の掲示、インスタグラムなどで個人情報を重視しながら子どもたちの様子を適切に、保護者の皆様にお伝えしようと工夫しています。先生方は、園の「見える化」に取り組んでいると思いますか？	103	65	9	2	2	168	11	2
			56.9%	35.9%	5.0%	1.1%	1.1%	92.8%	6.1%	1.1%
11	身近な人々 との かかわり	先生方は、地域の公園や公共の施設に出かける園外保育を工夫したり、高校の保育部の生徒や短大の学生などと遊び機会を多く持ったりしています。先生方は、多様な体験や人との関わり合いを重視し、子どもたちによりよい教育・保育を提供するようにしていると思いますか？	129	49	2	1		178	3	
			71.3%	27.1%	1.1%	0.6%		98.3%	1.7%	
12	健康支援	先生方は、園庭やホールなどで子どもたちと一緒に走り回ったり、戸外遊びを進めたりしています。先生方は、体を十分に動かして遊び体験を多く取り入れ、園児の体力の向上に努めていると思いますか？	137	37	4		3	174	4	3
			75.7%	20.4%	2.2%		1.7%	96.1%	2.2%	1.7%
13	食育の 推進	先生方は、ジャガイモやサツマイモなどの収穫体験を行ったり、子どもたちが給食や食べ物に興味・関心を持つよう指導の工夫をしたりしています。また、給食をインスタグラムで紹介したりしています。先生方は「食育」の大切さを考えていると思いますか？	136	38		1	6	174	1	6
			75.1%	21.0%		0.6%	3.3%	96.1%	0.6%	3.3%
14	幼小の接続	先生方は、子どもたちが進学する小学校を訪問し、情報交換や事務連絡等を行っています。また、年長児は、近隣の小学校訪問（例年2月に本庄小を訪問します）や入学前の小学生とのふれあいの活動等に参加しています。先生方は、小学校生活に向けての準備や期待を持つような指導をしていると思いますか？（年長のみ回答）	53	15			2	68		2
			75.7%	21.4%			2.9%	97.1%		2.9%

5 保護者の園評価アンケート集計【総合】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-3

○・1・2歳児保護者 評定

3・4・5歳児保護者 評定

総合評定

NO	評価項目 (観点)	評価の段階		
		よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からなり ⑤
1	教育・保育の目標	63		
		100.0%		
2	意欲	63		
		100.0%		
3	研究・研修	62		1
		98.4%		1.6%
4	組織力	62		1
		98.4%		1.6%
5	安全・環境	62		1
		98.4%		1.6%
6	指導の工夫・改善	63		
		100.0%		
7	道徳性の指導	63		
		100.0%		
8	生活習慣の指導	63		
		100.0%		
9	信頼性・連携	61	2	
		96.8%	3.2%	
10	園の公開	63		
		100.0%		
11	身近な人々とのかかわり	61	1	1
		96.8%	1.6%	1.6%
12	健康支援	63		
		100.0%		
13	食育の推進	61		2
		96.8%		3.2%

評価の段階		
よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からなり ⑤
178	2	1
98.3%	1.1%	0.6%
178	2	1
98.3%	1.1%	0.6%
174	1	6
96.1%	0.6%	3.3%
172	5	4
95.0%	2.8%	2.2%
172	6	3
95.0%	3.3%	1.7%
178	3	
98.3%	1.7%	
176		5
97.2%		2.8%
173	5	3
95.6%	2.8%	1.7%
168	9	4
92.8%	5.0%	2.2%
168	11	2
92.8%	6.1%	1.1%
178	3	
98.3%	1.7%	
174	4	3
96.1%	2.2%	1.7%
174	1	6
96.1%	0.6%	3.3%

評価の段階		
よい そう思う ①+②	よくない そう思わない ③+④	分からなり ⑤
241	2	1
98.8%	0.8%	0.4%
241	2	1
98.8%	0.8%	0.4%
236	1	7
96.7%	0.4%	2.9%
234	5	5
95.9%	2.0%	2.0%
234	6	4
95.9%	2.5%	1.6%
241	3	
98.8%	1.2%	
239		5
98.0%		2.0%
236	5	3
96.7%	2.0%	1.2%
229	11	4
93.9%	4.5%	1.6%
231	11	2
94.7%	4.5%	0.8%
239	4	1
98.0%	1.6%	0.4%
237	4	3
97.1%	1.6%	1.2%
235	1	8
96.3%	0.4%	3.3%

6 教職員の自己評価集計

(上段：人数・下段：割合)

資料 2

NO	評価の観点	評価内容	評価の段階			
			①よくあてはまる	②あてはまる	③あまりあてはまらない	④全くあてはまらない
1	教育・保育の目標	「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や本園の目標に基づき、子どもの主体性を大切にし、遊びを通した教育・保育を実践するように努めている。	18	13		
			58%	42%	0%	0%
2	意 欲	一人一人の子どもに温かく接し、意欲的に教育・保育活動に取り組むように努めている。	20	11		
			65%	35%	0%	0%
3	研究・研修	園内・園外での研究や研修に積極的に参加し、保育者としての資質向上に努めている。	11	18	2	
			35%	58%	6%	0%
4	組織力	教育・保育や学年学級経営、学年の課題等について、学年や先生方で話し合ったり、協力したりしている。	14	17		
			45%	55%	0%	0%
5	安全・環境	施設・設備の安全について定期的に点検するとともに、園庭やホール、保育室などの清掃、整理・整頓などに配慮している。	11	19	1	
			35%	61%	3%	0%
6	指導の工夫・改善	子どもたちが主体的な活動や豊かな体験ができるように、遊びの環境や指導の工夫・改善に努めている。	16	14	1	
			52%	45%	3%	0%
7	道徳性の指導	してよいこと、悪いことなどの規範や自分も友達も大切にするなど、道徳性や規範意識を育てるように努めている。	18	13		
			58%	42%	0%	0%
8	生活習慣指導	挨拶をする、さまりを守るなど基本的な生活習慣が身に付くように自ら率先して手本を見せたり、指導したりするように努めている。	17	14		
			55%	45%	0%	0%
9	信頼性・連携	子どもたちが安心して自分らしさを発揮したり、保護者も気軽に相談したりできるような、信頼関係を作るよう努めている。	16	15		
			52%	48%	0%	0%
10	園の公開	保護者参加行事や保育参観、保育参加、ホームページやお便り等を通して、園を公開するように努めている。	11	17	3	
			35%	55%	10%	0%
11	身近な人々とのかかわり	短大の学生や高校の生徒とのふれあいを活かしたり、身近な地域や公園などに出かける園外保育を工夫したりして、子どもたちによりよい教育・保育を提供するように努めている。	9	20	2	
			29.0%	64.5%	6%	0%
12	健康支援	屋外の遊びを大切にし、体を十分に動かして遊ぶ体験を意図的、計画的に取り入れるように努めている。	16	14	1	
			52%	45%	3%	0%
13	食育の推進	子どもたちが望ましい食の習慣を身に付けるように、給食指導等を行ったり、家庭と連携を図ったりするように努めている。	14	16	1	
			45%	52%	3%	0%
14	幼小の接続	年長では、小学校生活に期待や憧れを持たせる機会を設けたり、「10の姿」を意識した教育・保育を取り組んだりしている。（年長児担当・主幹）	3	2	1	
			50%	33%	17%	0%

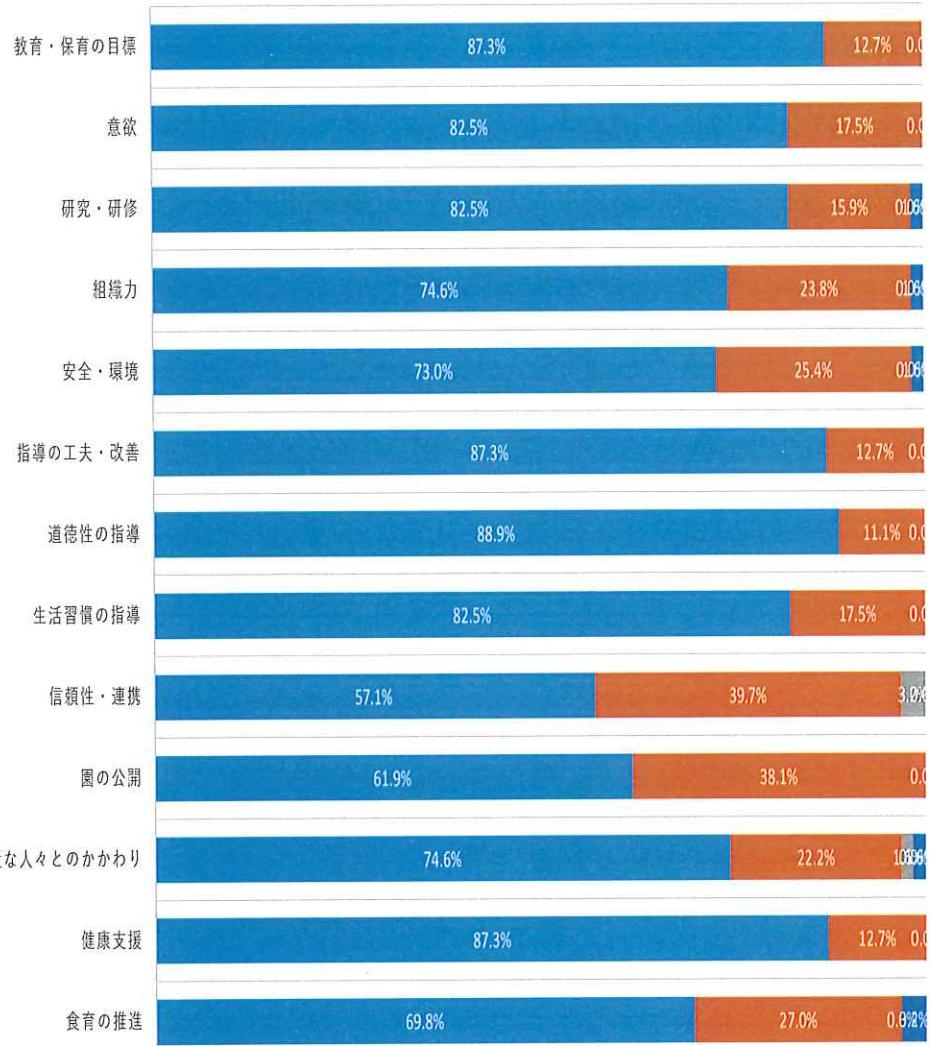
評価の段階	
①+②	③+④
31	
100%	0%
31	
100%	0%
29	2
94%	6%
31	
100%	0%
30	1
97%	3%
30	1
97%	3%
31	
100%	0%
31	
100%	0%
31	
100%	0%
28	3
90%	10%
29	2
94%	6%
30	1
97%	3%
30	1
97%	3%
15	1
83%	17%

園評価集計グラフ

資料 3-1

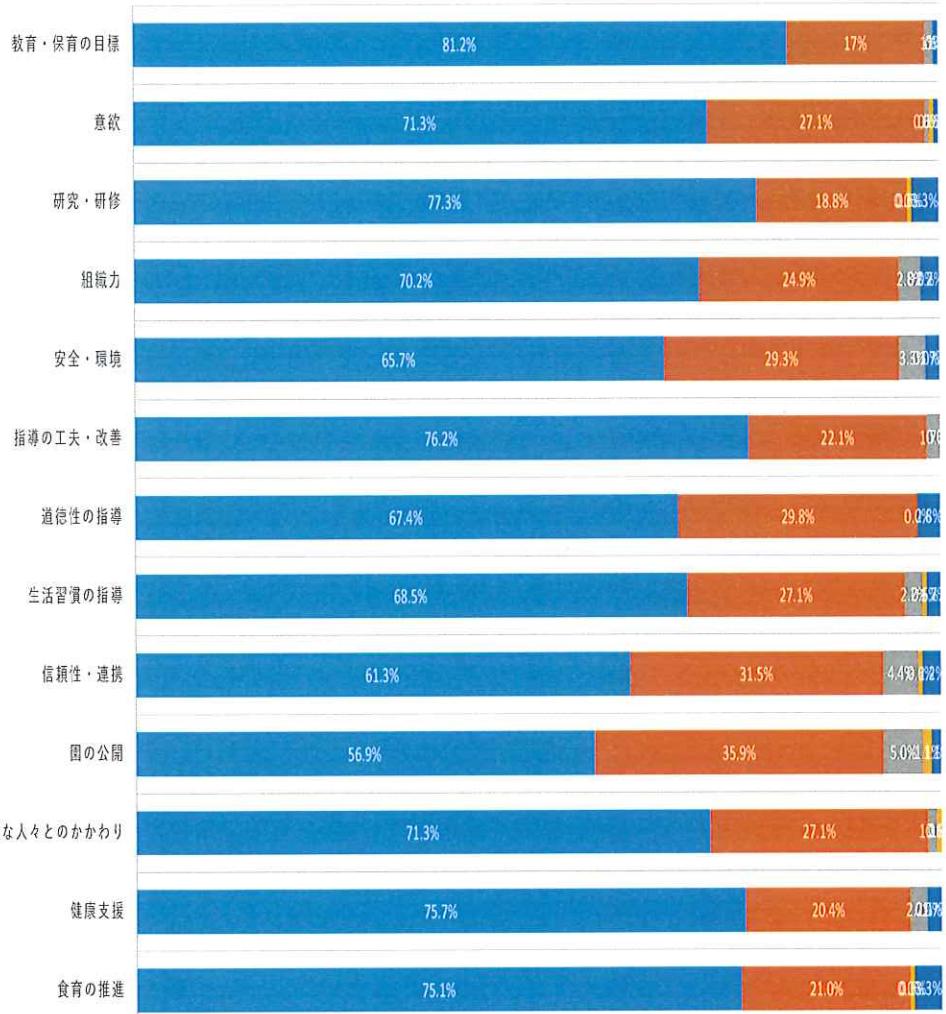
0・1・2歳児保護者 園評価集計グラフ

■そう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない ■わからない



3・4・5歳児保護者 園評価集計グラフ

■そう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない ■わからない

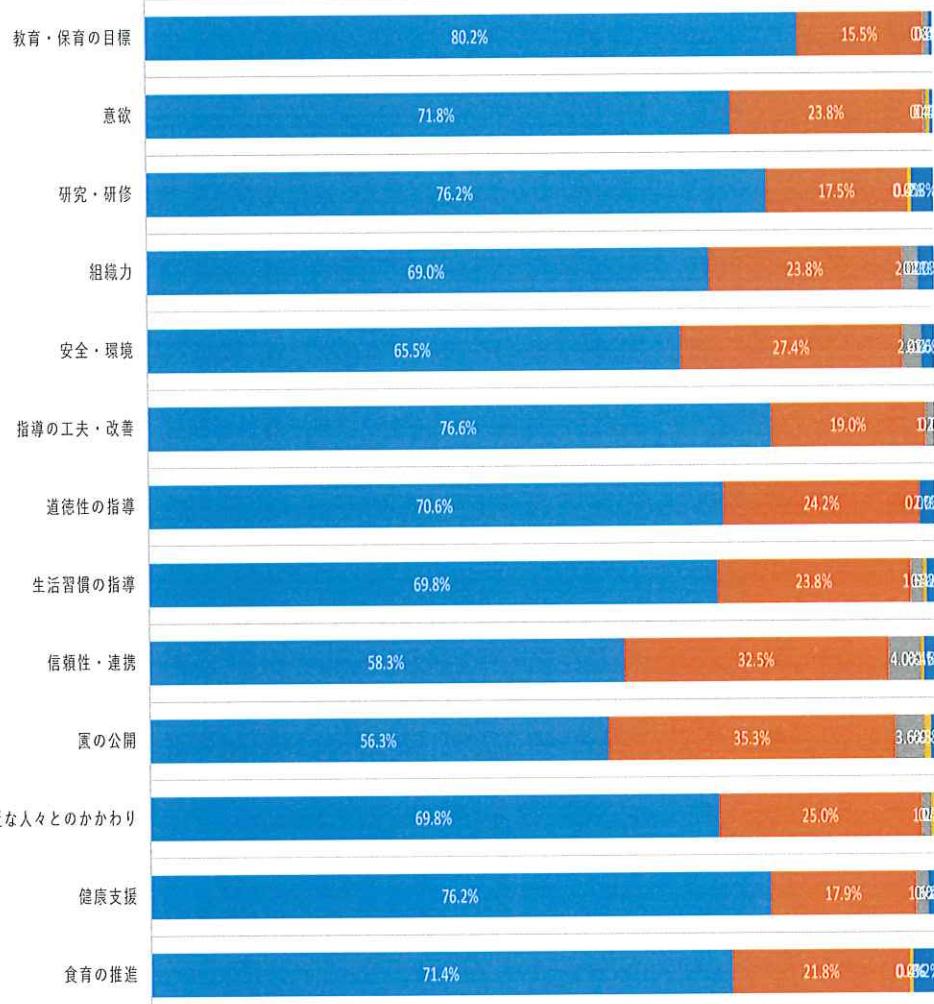


園評価集計グラフ

資料 3-2

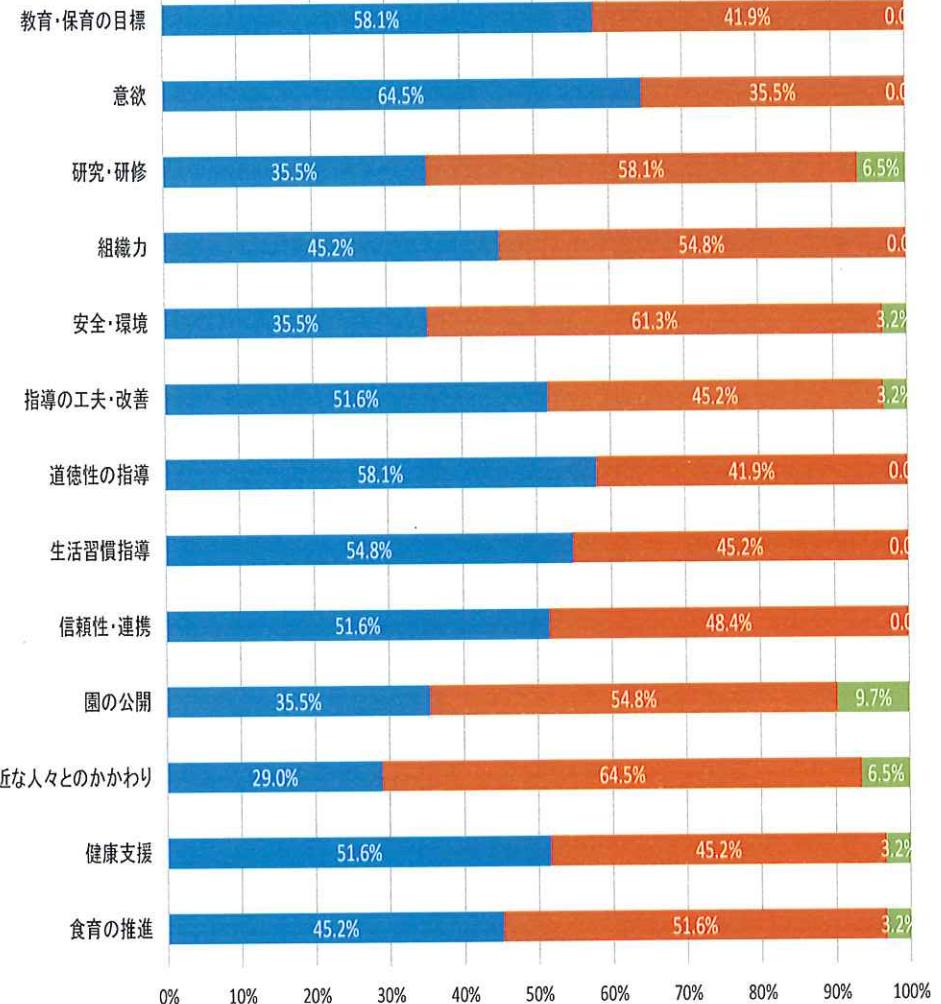
保護者園評価集計グラフ

■そう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない ■わからない



教職員園評価集計グラフ

■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■全くあてはまらない



7 園評価及び自己評価の総合評定

2023年度

NO	評価項目 (観点)	保護者の園評価			職員の自己評価		評 定			評定の気づき	関係者評価委員判定	
		よい そう思う	よくない そう思わない	分から ない	あてはまる	あてはま ない	保護者	職員	総合		評定	講 評
1	教育・保育 の目標	241	2	1	31		A	A	A	今年度も保護者、職員ともに高い評価である。職員は「そう思う」が100%で、子ども中心の教育・保育の実践を日々、目指していると感じる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども中心の教育・保育に対して、ぶれない信念をもって取り組んでいる。
2	意 欲	241	2	1	31		A	A	A	今年度も高い評価であった。職員の保育への姿勢が評価された結果だと思う。また、職員も全員が意欲的に日々の保育に取り組んでいると評価している。今後もその姿勢を持ち続けて欲しい。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・研鑽を積み、教育・保育の質の向上に努めている。
3	研究・研修	236	1	7	29	2	A	A	A	昨年度に引き続き、高い評価をいただいた。園児に対する職員の保育の姿や方法等の様子から研修の成果が日々の保育に還元されていると実感されていると考える。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・チームワークを意識し組織的協力的な教育・保育がされている。
4	組織力	234	5	5	31		A	A	A	保護者の「分からない」という数がわずかにある項目である。ただ、職員の「丁寧な指導、親身な指導、安心して任される」等のコメントが多くあった。職員がチームワークよく、協力し組織的に保育に当たっていることの現れである。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・よく考えられた給食を提供し、子どもの育ちを支えている印象が、特にあった。
5	安全・環境	234	6	4	30	1	A	A	A	安全点検したことを、急ぎ整備・修理することに努め、安心・安全に一層のスピーデ感を持って対応できた。安全な環境づくりを強化し、保護者の評価で「そう思わない」が2.5%と高くなかった。今後も整理整頓や清掃を心がける必要がある。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（老人会）の人とのかかわりは地域にとってはありがたいし、続けてほしい。
6	指導の工夫 ・改善	241	3		30	1	A	A	A	保護者の評価が1番高い項目である。保育教諭は研修の成果を生かしたり、遊びの環境を工夫したりしながら、日々の教育・保育に取り組んでいる。そのことが多くの保護者の方に理解され、評価していただいたと思う。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも、遊んだことや先生や友のことなどたくさん話すので、「園生活が楽なんだ」と想像できる。先生方が子どもの遊を工夫され、園児は楽しく過ごせていて感謝する。
7	道徳性 の指導	239		5	31		A	A	A	昨年度と同じ結果である。保護者、職員とも高い評価である。一人一人の子どもを大切にし、お互いの意見を聞き、お互い納得し合うような指導を心がけている成果であると思う。昨年度より3.8%高い。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（老人会）の人とのかかわりは地域にとってはありがたいし、続けてほしい。
8	生活習慣 の指導	236	5	3	31		A	A	A	保護者、職員ともに高い評価である。生活習慣を身に付けさせることは大切なことである。これからも保護者と連携を取りながら、子どもの発達段階に応じながら生活習慣の指導を進めていきたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも、遊んだことや先生や友のことなどたくさん話すので、「園生活が楽なんだ」と想像できる。先生方が子どもの遊を工夫され、園児は楽しく過ごせていて感謝する。
9	信頼性 ・連携	229	11	4	31		A	A	A	保護者、職員とも高い評価である。「そうは思わない」が、4.5%で減少した。今後も保護者と直接会話し、説明をしっかり行いながら引き続き信頼関係を築いていきたい。また、各通信等で連絡等を充実させたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（老人会）の人とのかかわりは地域にとってはありがたいし、続けてほしい。
10	園の公開	231	11	2	28	3	A	A	A	評価項目の中で低評価が4.5%と昨年度と比べると3%よくなかった。今年度は、保育参観や保育参加を計画とおりできた。インスタグラムも昨年以上の公開を行った。学級で公開の差があるのを是正し改善できてきた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも、遊んだことや先生や友のことなどたくさん話すので、「園生活が楽なんだ」と想像できる。先生方が子どもの遊を工夫され、園児は楽しく過ごせていて感謝する。
11	身近な 人々との かかわり	239	4	1	29	2	A	A	A	保護者、職員ともに高い評価である。職員は季節に合わせて、機会ある毎に短大や近隣の公園、公共施設等へ園外保育に出かけ、様々な体験をさせるように工夫していく結果であると思われる。公民館主催の敬老会にも参加できた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（老人会）の人とのかかわりは地域にとってはありがたいし、続けてほしい。
12	健康支援	237	4	3	30	1	A	A	A	子どもたちは戸外で、元気に十分遊ぎるくらいに身体を動かして遊んでいると思う。職員も一緒によく遊び、戸外での遊びを推奨している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（老人会）の人とのかかわりは地域にとってはありがたいし、続けてほしい。
13	食育の推進	235	1	8	30	1	A	A	A	給食によりでの食育の大切さ、給食の工夫、家庭で生かせるメニューなどを発信し保護者に好評を得た。インスタグラムで給食の献立や様子等の写真を掲載するなど、食育の推進の「見える化」を工夫してきた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域（老人会）の人とのかかわりは地域にとってはありがたいし、続けてほしい。

8. 総合評価

①	アンケートの回収は244/263で回収率92.8%であった。回収率の内訳は、3歳未満児が63/70で90%、3歳以上児が181/193で93.8%であった（昨年度より7.8ポイント高い回収率）。園の教育・保育や子どもの成長等に対する保護者の方の関心の高さを知るとともに、多くの保護者にご協力いただいたことに感謝したい。今後も、評価の観点についてはより具体的な取り組みを示し、焦点化し評価しやすいように工夫していきたい。
②	保護者の評価は13項目すべてにおいて「よい・そう思う」が93%以上の高い評定をいただいた。特に、「教育・保育の目標」、「意欲」、「研究・研修」、「組織力」、「指導の工夫・改善」、「安全・環境」、「道徳の指導」、「生活習慣の指導」、「身近な人々とのかかわり」「健康支援」、「食育の推進」の11項目においては95%以上という高い評価だった。本園の教育・保育の柱としている「子ども中心の教育・保育」や日頃の教育・保育の実践等をご理解いただけてきた証であると思う。
③	職員には自身のことを振り返る自己評価を実施した。13項目すべてにおいて「よくあてはまる・あてはまる」の評価が90%を超えた。「教育・保育の目標」「意欲」「組織力」「道徳性の指導」「生活習慣の指導」「信頼性・連携」では「よくあてはまる・あてはまる」の評価が100%だった。職員の教育・保育に対する前向きな姿勢や日々の実践に工夫や努力を行っていることを見ることができた。チームワークの良さを感じている職員が多くいた。今後もその組織力を生かしたい。保護者対応が難しいという職員の声があり、保育以外を研修する機会を設けていきたい。子育て支援サロンについて、一部の職員のみに任せるとではなく、かかわっていくことが大切である。
④	保護者の「よい・そう思う」の評定が93%以上という高い評価をいただいたが、「園の公開」「信頼性・連携」の観点において「あまりそう思わない・そう思わない」と評価された方が共に4.5%あった。また、「研究・研修」「食育の推進」において、「わからない」と評定された方が若干名あった。インスタグラムや廊下の掲示板で子どもたちの様子を工夫しながら発信したが、学年に応じて発信回数にまだ差がある。発信できるタブレット等の整備をしたい。コロナウイルス感染症の影響なく行事等が行われたのがよかった。
⑤	年長の保護者のみの評価項目14「幼小の接続」について評定をいただいた。「よい・そう思う」の評価が97%であった。また、「よくない・そう思わない」がなかった。「わからない」の評価が2.9%（2名）あったが、昨年度（13%）よりも10.1%良くなかった。また、諸機関の協力によって、特性のある園児について小学校と情報交換を行った。
⑥	保護者からは13項目すべてで「A」評定をいただいた。また、全項目で「よい・そう思う」の評定が93%以上という高い評定であった。ただ、高い評定であっても、「信頼性・連携」「園の公開」などの項目においては、「よくない・そう思わない」の評定があり、真摯に受け止め、次年度の課題としたい。

9. 次年度への課題・改善策

①	信頼性 連携	「そう思う」の評価が93.9%であった。「そう思わない」と評価した保護者が11名（4.5%）であり、内8名は3・4・5歳児保護者であった。職員の自己評価は、昨年度に引き続き「そう思う」が100%であり、保護者との連携や信頼関係を築くために努力していることが伺える。職員はできるだけ保護者と直接話したり、電話で連絡をしたりすることを心がけている。また、インスタグラムや写真の掲示等で子どもたちの様子を頻繁に公開するなどして、子どもの様子を伝える努力をしている。保護者との信頼関係を築くことは、教育・保育する上で重要な要素である。今後は「そう思わない」の要因を探るとともに、子どもの生活や成長の様子を、どう伝えていくか工夫していきたい。
②	園の公開	「そう思う」が94.7%と高い評価をいただいている。ただ、「そう思わない」という評価が11名（4.5%）で3%良くなかった。ただ他の項目に比べ「そう思わない」の評価が若干高くなっている。職員の自己評価でも2名が「あまりあてはまらない」という評価を行っている。本年度から新型コロナウイルス感染症の影響なく、年間計画で予定していた保育参観や保育参加も通常どおり、参加人数の制限等なく行った。保護者が来園する機会は多くなった。また、インスタグラムの公開にも量や内容の高まり等を求めてきてている。今年度はその要求に応じようと努力したが、学年間にその発信回数に差が生じていたようだ。

③	保護者の園評価	<p>今年度の回収率は92.8%であり8%アップした。アンケートへのご協力と周知を早めに行い、数回アンケートの協力をお願いした成果であろう。また、園評価の結果を公開とともに、それが次年度の園の運営や教育・保育にどう活かされているか、丁寧に説明していきたい（PDCAサイクルの園評価としていきたい）。さらに、具体的な取り組みや保育内容を盛り込んだ評価しやすい内容や観点になるよう、評価内容を工夫・改善していきたい。</p> <p>今年度も13評価項目すべてに、「よい・そう思う」の評価が93%を越える高い評価をいただいた。園にとって大変ありがたく、職員の教育・保育に取り組むモチベーションを向上させるとと思う。今後は「そう思わない」の評価があることを真摯に受け止め、保護者の期待を裏切らないように、子どもを中心とした教育・保育のさらなる向上に努めていきたい。</p>
④	職員の自己評価	<p>職員は13項目全てにおいて、「あてはまる(努力した)」と評価し、「A」評定となった。特に「教育・保育の目標」や「意欲」、「組織力」、「道徳性の指導」、「生活習慣の指導」、「信頼性・連携」など、日頃の教育・保育については、自信をもってがんばったと全保育教諭が評価している。職員の教育・保育に対する姿勢は、前向きで素晴らしいと感じる。これも、保護者の方から高い評価をいただいたことが励みになり、職員一人一人が、子ども中心の教育・保育に自信ややりがいをもって日々実践している証だと信じる。</p> <p>今後も、子ども一人のために、資質の向上に励み、保護者との連携を密にしながら、保育の「見える化」に取り組んでいきたい。また、「チームふたば」の意識をもって組織力を高め、全職員が一丸となり、子どもの健やかな育ちに関わっていきたい。</p>

10. 「総合評価」「次年度への課題・改善策」に対する評価委員の意見

- ・「こども主体」「こどもがまん中」のよさを保護者をはじめ多くの人に伝えるためには、日常的な対話の中で互いの距離を縮めなければならない。それぞれの立ち位置（子ども・保護者・保育者）からの多様な意見が重要な時代であり、ボトムアップされた考えを大事にしていかなければならない。（学識経験者）
- ・園の公開（インスタ等）について、公開数や内容へのそれぞれの意見があるが、「結果を伝える」場合と「取組などの過程を伝える」場合の意味づけをしながら掲載する必要があると思う。（学識経験者）
- ・コロナ感染症が第5類に移行され、園の行事や活動等の制限がなくなり、従来の園生活が少しずつ戻ってきたと思う。今年度の保護者アンケート回収率が8%アップした中で、園の取り組みについて感謝や支持する言葉が多くなったことを聞いて素晴らしいと思った。園の地道な取組の成果と先生方の日々の努力の賜物であると受け取れる。（地域代表）
- ・信頼性・連携に関する保護者の評価は、昨年よりも良くなっているものの、やはり100%を目指すのは難しいと思う。（地域代表）
- ・先生方が一人ひとりの子どもに寄り添い、子どもが生き生きと活動する姿ことが保護者の信頼を得ることになると思う。（地域代表）
- ・先生方一人一人が自信をもってがんばっているという姿が、保護者に伝わり高評価につながっている。これからも「チームふたば」の強力なパワーを発揮させてほしい。（地域代表）
- ・こども園の給食メニューと高校の保育の授業とコラボしながら、双方にとって価値のある「食育」が営まれていた。このような取り組みを園が発信することによって保護者に伝わり、「食育の推進」の高評価にもつながっていると思う。（保護者代表）

11.今回の「園の自己評価」全般を通しての感想や意見・課題など

- ・「こども主体」「こどもがまん中」のよさを保護者に伝えたいが、その伝える方法や術を工夫していく必要がある。（学識経験者）
- ・本園が、子ども中心の教育・保育にチームとして力を注ぎ、研鑽していることは高く評価できる。（学識経験者）
- ・保護者の多様性の考え方が様々な方向へむいている感じがする。それらの考え方等を把握するため、保護者と率直に意見交換する「語る会」等をしてみてはどうかと思う。（学識経験者）
- ・子育て支援サロンに参加する機会があり、乳幼児の実態を知ることができた。楽しい時間を共有できた。参加者も有意義な様子でありよかったです。（地域代表）
- ・保護者の信頼を得るために、情報発信も大切だが、直接話をする場の設定が重要であることが分かった。（地域代表）
- ・時と場をとらえ、保護者の声を聴く場を設定する機会を設けることが大切である。（地域代表）
- ・「先生の笑顔が素敵」、「子どもたちと一緒にたくさん遊んでいる先生に感謝です」、「園に行きたくないということがなく親としてうれしいです」、「送迎の際に子どものことを話してくださる先生に感謝です」など日ごろの先生の姿や対応について、保護者の感謝の言葉があり、素晴らしいと思う。（地域代表）
- ・「給食がおいしくて、いろいろ工夫されているのが分かる」等の意見があり、給食への関心が高く、また高い評価の声が多くてよかったです。（地域代表）
- ・インスタは保護者のアルバムではない。園の「見える化」のためにプロセスを配信している主旨を保護者に伝えてもらいたい。（保護者代表）
- ・園の様子をより見えやすくするために、保育参観の日程を検討してほしい。（保護者代表）
- ・1号園児の保護者も先生と顔を合わせて話す機会が増えれば園の方針等を理解されると思うし、信頼関係もアップすると思う。（保護者代表）
- ・インスタを増やすことで、より保育者の負担が増すのはよくないと思う。（保護者代表）

12.関係者評価委員会による評価を終えて

- ・評価項目がマンネリ化しないように、毎年見直したり入れ替えたりしてきた。今使っている評価項目の言葉は、柔らかく誘い込むような響きである。少しずつ時代の流れに沿った共通言語もあってもよいのではないかと思う。（学識経験者）
- ・園評価アンケート回収率が約94%の中、どの項目についても高い評価を受けたことはすばらしい。今後も信頼される園として活躍してほしい。（学識経験者）
- ・園評価アンケートがあることにより、保護者に園の取り組みや方針等が伝わりやすいと思う。（保護者代表）
- ・アンケートの内容のみで保護者の意見を把握するだけではなく、日ごろの保護者との会話からも情報収集することが大切である。（地域代表）
- ・関係者評価委員会に保護者の立場で参加したが、これまで知らなかつたことやわからなかつたことなどの話が聞けて良い経験でした。（保護者代表）
- ・園をさらに良くしていきたいという思いが聞けてよかったです。また、園の取り組みの意味等が理解できたのでよかったです。（保護者代表）
- ・職員研修は教育・保育の質の向上のために、これまで計画的に続けてきた。その成果が日頃の保育の中で生かされている。保育者の「子ども中心の教育・保育」に対する取り組みや能力が確実に向上していると思う。これからも「子ども中心の教育・保育」を県内で先導できる園として更に研鑽を積んでいきたい。（園）
- ・アンケート結果がすべての項目で高評価で安心したし、今後の励みになった。今後も園児の笑顔のためにさらに努力していきたい。（園）